



自衛隊栃木地方協力本部

LRT(次世代型路面電車)開通の芳賀町で『芳賀町民祭』広報展を開催 ～今年1番の寒さも吹き飛ばして自衛隊をPR!～



自衛隊の車両

「階級によって仕事や役割の違いは何ですか?」などたくさん質問を受け、多くの来場者に自衛隊について興味を持ってもらうことができました。



元気いっぱいなポーズで写真撮影

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所(所長 麦倉准陸尉)は11月12日(日)、芳賀町で開催された『芳賀町民祭』で自衛隊広報ブースを出展した。

栃木県では、2023年8月26日に国内初となる全線新設LRT(次世代型路面電車システム)が宇都宮市と隣の芳賀町を結んで開業した。芳賀町では町制施行70周年とLRT開業記念イベントとして『第42回芳賀町民祭』を開催し、当日は冬の訪れを感じる寒さであったが、「文化祭」と「産業祭」に加えて「マラソン大会」が合体したイベント会場は多くの来場者で賑わった。

広報展は「はたらく車大集合!」エリアに、中央即応連隊(宇都宮)の支援による96式装甲車及び軽装甲機動車の展示のほか、制服試着体験、階級章・徽(き)章の展示等を行った。また、併設したテントでは芳賀町自衛隊家族会(会長 松本明秀氏)が自衛隊グッズ等を販売し広報展を盛り上げた。来場者から「自衛隊車両は間近で見ることができない機会がないので、とても楽しかったです!」という感想の他、制服試着をし、寒さを吹き飛ばすとばすくらの元気な笑顔で写真撮影をする家族の姿が多く見られた。また、自衛隊の階級章・徽(き)章がずらりと並べられた展示コーナーでは、「階級」に馴染みのない来場者から「沢山の階級があるんですね。階級の見分け方を教えてください!」「一番偉い人とあなたの階級はどれですか?」「階級によって仕事や役割の違いは何ですか?」などたくさん質問を受け、多くの来場者に自衛隊について興味を持ってもらうことができました。



階級章展示コーナーで自衛隊をPR



LRT(次世代型路面電車システム)
※宇都宮ライトレール(株)HPより画像引用